



処置用顕微鏡／肉眼では見えない耳や鼻の病変を顕微鏡で拡大し、微細な観察を実現

2月・3月は花粉症の悩みが増える時期です。
早めの受診と、
治療をおすすめします。

竹内健二院長

所属学会／日本耳鼻咽喉科学会・日本気管食道科学会。耳鼻咽喉医師として約35年のキャリアをもつ「丁寧な処置で、内診による早期の完治をめざしています」



「耳鼻科は投薬治療のほかに、外来で細かな処置も重要です。患者さんの話をしっかり聞いて、丁寧に症状と向き合う気持ちを開院から大切にしています」と話す竹内健二院長。信頼され親しまれるクリニックを目指し、クリニックを2020年9月に開院しました。診療科目として耳鼻咽喉科とリハビリテーション科（言語聴覚療法）を標榜。優れた医療の提供に努め、患者とその家族に寄り添ってきました。最近では赤外線CCDカメラ（y-VOG）を導入し、増加傾向にある「めまい」患者の診療を強化。今後は医師と言語聴覚士が連携した聴覚に関わる診療・訓練に一層、力を入れ、乳幼児から高齢者まで多くの患者の受け入れを目指します。

高度な医療を地域に提供
必要不可欠なクリニックへ



日本福祉大学付属クリニック さくら
CLINIC SAKURA

地域と患者に寄り添った 温かい医療を提供

「みみの診療」「はなの診療」「のどの診療」「ことばと聴こえの訓練」を行う日本福祉大学付属クリニックさくら。患者の思いに耳を傾け、診療・訓練を実施しています。地域医療を支える拠点としての機能のほか、未来を担う学生の受け入れや地域住民向けの公開講座を実施するなど、教育的な役割を果たすことでより地域に開かれたクリニックを目指し活動が続けています。

また、優れた医療を地域に提供するだけでなく、学校法人付属の医療機関として未来を担う若者の学びの場としても機能。現在、日本福祉大学、日本福祉大学中央福祉専門学校、専門学校の学生が実習・演習を通じて学んでいます。院長が学生に伝えているのは、「症状や経過に目を向け、メカニズムから把握することにより良い治療法が見つかり、患者への丁寧な説明につながる」という点。「患者を第一に思う医療人になってほしい」と目を細めました。



y-VOG／高齢者を中心に増えている良性発作性頭位めまいやメニエール病など「めまい」の検査に使う眼振計測システム。電極を張り付ける必要のある電気眼振図（ENG）に代わり、カメラ付きゴーグルにより眼球の動きを数値化してめまいの治療をする

障がいがある子どもたちの
成長と社会参加を見守る

リハビリテーション科では言語発達の相談が最も多く、必要に応じた訓練や支援に努めています。保育園などの集団生活のなかでは、個々の言葉の成長に気づかないこともあり、「おとなしい子ども」と認識していたけれど、実は発達に遅れがあるというケースは少なくありません。きょうだい構成や親との関係などが発達に影響している場合もあり、一人ひとりに丁寧な対応が必要です。言葉の遅れや聴こえの問題について早期発見・治療をめざ

日本福祉大学付属 クリニックさくら 4つの特徴

- 1 先端機器を活用した治療**
めまいの検査に用いるy-VOGなど、先端機器を活用した治療を行います
- 2 乳幼児から高齢者まで**
みみ・はな・のどの一般的な疾患に加え、めまい、いびき・睡眠時の無呼吸なども診療。乳幼児・小児の言葉と聴こえの遅れの診療や、補聴器外来および人工内耳の調整も実施
- 3 幅広く対応する訓練**
リハビリテーション科（言語聴覚療法）では医師と連携して年齢や障がい領域を問わず幅広く訓練しています
- 4 学生・市民の学びの場**
学生への教育の場として役割を果たすとともに、クリニックの職員が地域住民向けに旬いや聴こえに関する公開講座を実施するなど広く教育活動を実施しています



村上真知子さん

言葉やコミュニケーションが不自由で困っている人の気持ちに寄り添うため研究をすすめる
「実習生の学生から刺激を受けながら、常に新しい情報と医療で地域に貢献します」

「大人とのかかわりや集団生活で受ける適度な刺激は子どもの言語発達に必要ですが、コロナ禍で制限され、本来あるはずの刺激が激減しています。障がいがないお子様でも、言語発達やコミュニケーション力の獲得が遅れてしまうこともあります。反対にコロナで外に出ないから言葉数が少ないのかと思っていたら、実は先天的に障がいがあることも」と言語聴覚士の村上真知子さん。コロナ禍が子どもの成長にどのような影響をおよぼすのか、研究を進めて地域医療に生かしたいと意欲を見せました。



聴覚検査装置・乳幼児聴力検査装置／一般的な聴覚検査装置に加えて赤ちゃんや子どもが遊戯を通じて音への反応を確認できる検査。補聴器調整では専用の補聴器適合検査装置で的確に聴力の改善をめざす



Information

日本福祉大学附属クリニックさくら

名古屋市中区千代田4丁目5番3号 大日本土木鶴舞ビル1階

Tel. 052(212)7001／Fax. 052(212)7005

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	—
14:00～18:00*	●	●	—	●	●	—	—

*耳鼻咽喉科の診療は15:00～18:00、ことばと聴こえの訓練の実施は14:00～18:00となります

【診療科】耳鼻咽喉科・リハビリテーション科（言語聴覚療法）
【受付時間】9:00～11:40／14:00～17:40
【休診】水曜午後／土曜午後／日・祝日
【補聴器外来】火曜9:00～11:40／木曜14:00～17:40 ※事前予約制



日本福祉大学付属クリニック さくら
CLINIC SAKURA

詳細・アクセス・ネット予約はこちら

